

～一朱銀について～

特徴や査定の注意点についてご紹介

江戸時代後期の文政～明治時代にかけて鑄造された**計数銀貨**（重さではなく、枚数で価値が決まるお金）です。**16枚集めると金貨1両**と同じ価値になります。1朱（16朱＝4分＝1両）

一朱銀について

文政南鐐一朱銀



重量：2.63g 銀989/その他11

1824年～1837年

最初に作られた一朱銀。銀の純度が高く、少し大きめに作られている。「以十六換一兩」（十六を以て一兩に換う）と刻まれている。

嘉永一朱銀



重量：1.89g 銀968/その他32

1853～1865年

文政南鐐一朱銀の後継として発行され、より量産向きで、効率的な仕様に変更された。もっとも流通量が多い。提婆建設の給金に使われたため「お台場銀」とも呼ばれる。「常是」の「常」の上の部分（ツ）が普通の形。

明治一朱銀



重量：1.88g 銀880/その他120

1868～1869年

明治政府によって鑄造されたもの。見た目はほぼ嘉永一朱銀と同じ。

「常是」の「常」の上の部分が「川」の字のように垂直に近い3本線になっている。

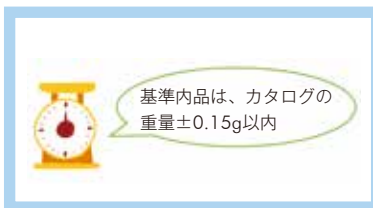
査定時の注意点

査定の際は①②のお写真をお願いいたします。

① 裏表の鮮明な写真



② 1枚ずつ秤に載せた重さの写真



ご不明な点がございましたら、商品部までお問い合わせ下さい。